

JAバンク新潟県信連

ミニディスクロージャー誌 令和3年度 決算情報



経営内容

プロフィール (令和4年3月31日現在)

名称	新潟県信用農業協同組合連合会
本店所在地	新潟市中央区東中通一番町189番地3
創立	昭和23年8月
総資産	2兆424億円
出資金	744億円
店舗数	本店
職員数	169名

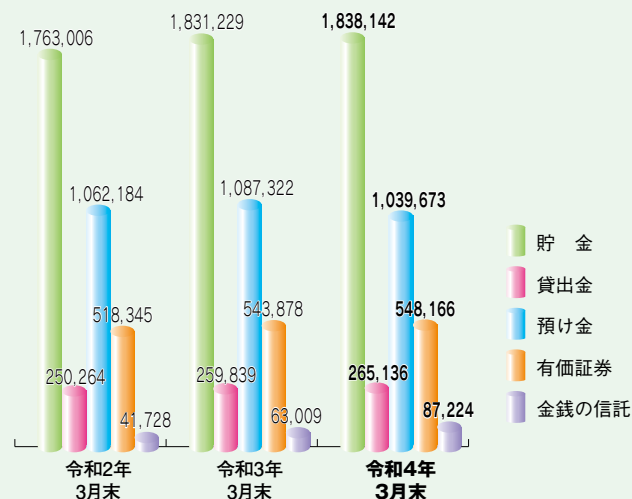
事業の概況

■ 主要勘定の推移

(単位:百万円)

	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末
貯 金	1,763,006	1,831,229	1,838,142
貸 出 金	250,264	259,839	265,136
預 け 金	1,062,184	1,087,322	1,039,673
有 価 証 券	518,345	543,878	548,166
金銭の信託	41,728	63,009	87,224

- ・貯金残高(譲渡性貯金を含む。)は、JAからの貯金の増加を主要因に、前年比69億円、0.37%の増加となりました。
- ・貸出金残高は、金融仲介機能の発揮に向けて積極的な融資伸長に取り組んだ結果、前年比52億円、2.03%の増加となりました。
- ・有価証券および金銭の信託の残高は、リスク管理と収益性に留意しつつ分散投資を行った結果、合計で前年比285億円、4.69%の増加となりました。

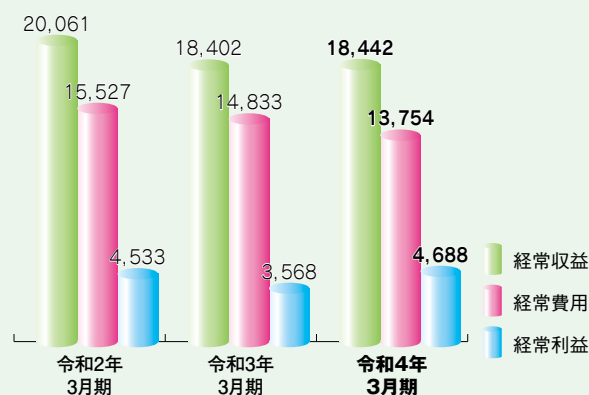


■ 収益等の推移

(単位:百万円)

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
経 常 収 益	20,061	18,402	18,442
経 常 費 用	15,527	14,833	13,754
経 常 利 益	4,533	3,568	4,688
当期剰余金	3,949	3,347	4,168

- ・リスク管理に留意しつつ効率的な運用に努めた結果、経常収益が増加したことに加え、貸倒引当金の繰入が無かったことや金銭の信託運用損の減少等により経常費用が減少したことから、経常利益は、前年比11億円、31.38%増加の46億円となりました。



■ 単体自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末
自 己 資 本 額 (A)	150,740	161,481	160,704
リ ス ク ・ ア セ ッ ト (B)	1,129,299	1,181,821	1,248,857
自己資本比率=A÷B×100	13.34	13.66	12.86

- ・市場運用の拡大に伴うリスク・アセットの増加を主要因に、自己資本比率は、前年比0.80ポイント低下し、12.86%となりました。
- ・国内基準(4%)および国際統一基準(8%)を上回り、高い安全性・健全性を維持しています。



■ 事業純益の推移

(単位:百万円)

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
事 業 純 益	3,436	930	2,515
実 質 事 業 純 益	3,436	1,195	2,515
コ ア 事 業 純 益	3,324	1,087	2,180
コ ア 事 業 純 益 (投資信託解約損益を除く)	3,360	1,824	2,500

- ・資金利益が増加したことから、実質事業純益は、前年比13億円、110.33%増加の25億円、国債等債券関係損益を除いたコア事業純益は、同10億円、100.48%増加の21億円となりました。

(注) 1. 事業純益=事業収益-(事業費用-金銭の信託運用見合費用)-一般貸倒引当金繰入額
 2. 実質事業純益=事業純益+一般貸倒引当金繰入額
 3. コア事業純益=実質事業純益-国債等債券関係損益※
 ※国債等債券関係損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。



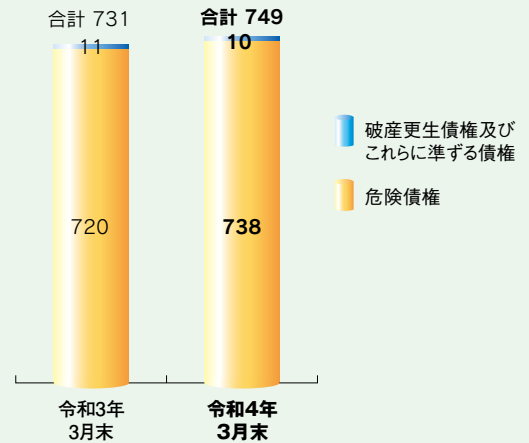
不良債権の状況

農協法および金融再生法に基づく開示債権(単体)の推移

(単位:百万円、%)

債権区分	令和3年3月末	令和4年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権①	11	10	△1
危険債権②	720	738	18
要管理債権③	—	—	—
(うち三月以上延滞債権)	(—)	(—)	(—)
(うち貸出条件緩和債権)	(—)	(—)	(—)
小計(①+②+③=A)	731	749	17
正常債権④	262,997	268,074	5,076
債権額合計(A+④=B)	263,729	268,823	5,094
不良債権比率 (A÷B×100)	0.27	0.27	0.00

・不良債権額・正常債権額ともに増加し、不良債権比率は前年同率の0.27%となりました。



自己査定・保全の状況と開示債権 (令和4年3月末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。(単位:百万円、%)

自己査定と保全の状況					開示債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高
破綻先	0	—	0	100.00	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10
実質破綻先	9	3	6	100.00	危険債権	738
破綻懸念先	738	160	561	97.71	要管理債権	—
要注意先	(うち要管理債権)	(—)	(—)	(—)	(うち三月以上延滞債権)	(—)
	要管理先	—	—	—	(うち貸出条件緩和債権)	(—)
	その他要注意先	10,063	—	—	小計	749
正常先 (地公体等を含む)	258,011	—	—	—	正常債権	268,074
合計	268,823	—	—	—	合計	268,823

農協法および金融再生法に基づく開示債権について

- ・「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。
- ・「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りがでない可能性の高い債権です。
- ・「要管理債権」とは、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」および「危険債権」以外の、三月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- ・「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

有価証券等時価情報

有価証券

(単位:百万円)

区分	令和3年3月末			令和4年3月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
満期保有目的	—	—	—	—	—	—
その他	515,736	543,878	28,141	529,617	548,166	18,549
合計	515,736	543,878	28,141	529,617	548,166	18,549

(注)

- ・有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。
- ・取得価額は、その他有価証券については償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。

金銭の信託

(単位:百万円)

区分	令和3年3月末			令和4年3月末		
	取得価額	時価	差額	取得価額	時価	差額
運用目的	464	404	△59	464	404	△59
その他	62,239	62,604	365	84,958	86,819	1,860
合計	62,704	63,009	305	85,423	87,224	1,800

(注)

- ・金銭の信託の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しています。
- ・取得価額は、運用目的金銭の信託については取得価額を、その他金銭の信託については償却原価適用後、減損後の帳簿価額を記載しています。
- ・運用目的金銭の信託の評価差額は、当期の損益に含めています。

※本資料の記載金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。そのため、合計欄、増減欄等が一致しないことがあります。

地域経済への貢献

■ 資金調達および資金供給の状況（令和4年3月末）

当会は、県内のJA等が会員となり、互いに助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、新潟県を事業区域として、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

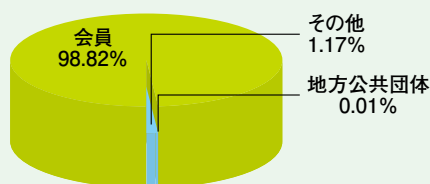
当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金が源泉であり、主として、JA・農業に関連する企業・団体および県内の一般企業や地方公共団体などにご利用いただいています。

● 貯金内訳

貯金（会員比率）

（単位：百万円）

区 分	残 高
会 員	1,816,501
地方公共団体	255
そ の 他	21,385
合 計	1,838,142

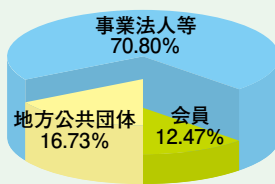


● 貸出金内訳

貸出金（会員比率）

（単位：百万円）

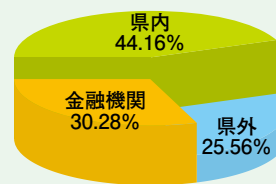
区 分	残 高
会 員	33,066
地方公共団体	44,349
事業法人等	187,720
合 計	265,136



貸出金（県内比率）

（単位：百万円）

区 分	残 高
県 内	117,093
県 外	67,759
金 融 機 関	80,283
合 計	265,136



※貸出による地域への資金供給のほか、新潟県債、新潟市債の引受により、新潟県経済の発展に貢献しています。

地域密着型金融への取組み①

■ 地域農業活性化のための金融支援

JAバンク新潟（県下19JAと当会）では、農業者向け資金を幅広くご用意し、新潟県農業の発展を多面的に支援しています。農業者に対する金融面での支援強化として、農業者向け資金に広く利子補給・保証料助成事業を実施し、実質金利負担の軽減を図るとともに、農業者向け各種ファンドの取扱いなど、多様なニーズにお応えしています。

令和3年度は、「担い手支援資金（アグリV）」の取扱いを継続するとともに、各種災害等資金として、凍霜害および暴風により被害を受けた農業者を支援する「令和3年度災害復旧支援資金」、米価下落等により収入減少が見込まれる農業者を支援する「令和3年度緊急農業経営安定対策資金」を創設したほか、新型コロナウイルス感染症により経営に影響を受けた農業者を支援する「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」の取扱期間を延長するなど、農業専門金融機関として農業者に対する円滑・迅速なサービスの提供に努めています。

今後も、新潟県における農業メインバンクとして、農業者の皆さまを幅広く支援していきます。

農業資金残高（令和4年3月末）

（単位：件、百万円）

主 な 資 金	県下JAおよび当会での取扱い		資 金 の 内 容
	件 数	残 高	
アグリマイティー資金	3,500	15,678	農地取得等、幅広い資金用途に対応できる資金
農業近代化資金	590	4,403	機械・設備の取得等、農業経営の近代化を図るために必要な長期資金
農機具ローン	4,933	6,847	農機具の購入等に必要な資金
担い手支援資金（愛称：アグリV）	2,390	6,024	担い手の農業経営に必要な設備・運転資金、農地取得資金
各種災害等資金	1,812	2,964	各種災害や新型コロナウイルス感染症による被害からの復旧等、経営の安定化に必要な資金
にいがたアグリビジネスローン	73	930	農業法人、農業関連法人の経営に必要な資金
農業関連系統当座貸越	6	22,674	農産物販売代金の決済に至るまでのつなぎ資金
スーパーL資金	807	5,677	認定農業者の経営改善に必要な長期資金
その他農業資金	1,554	3,992	
合 計	15,665	69,192	

■ 農業法人経営者セミナー

農業法人等の経営安定化支援と、情報交換の場を提供することなどを目的として「農業法人経営者セミナー」を開催しています。

第15回目となる令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、「コロナ禍において求められる農業経営」等をテーマとしたセミナーをDVDに収録し、農業法人等に提供しました。

地域密着型金融への取組み②

■ 農商工連携・6次産業化への取組み

農商工連携推進の一環として、フリーペーパー形式の情報誌「Sole(そーれ)!!にいがた」を発行しています。

この情報誌では、「農・商・工をつないでみんなでつくる新潟の元気!!」を合言葉に、県内の農業や産業に関する幅広い情報の提供により、農業生産者・JAグループと地域の企業、さらには広く地域の皆さまとの結び付きを強め、新たなビジネスチャンスを創出するきっかけづくりを目指しています。

※「Sole!!にいがた」は、当会ホームページでご覧いただけるほか、県内のJA窓口や直売所、道の駅、スーパー等で無料配布しています。

※バックナンバーも、当会ホームページでご覧いただけます。



Sole!!にいがた vol.47
2022年 春号

■ 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた対応

当会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けたお客さまの資金繰りを支援するため、相談窓口を設置のうえ、プロパー資金により対応しているほか、各種制度資金も取り扱っています。

● 新型コロナウイルス感染症にかかるご相談窓口

受付時間	窓口	ご相談内容	電話番号
平日 9:00～17:00	融資部(融資統括担当)	法人融資に関するご相談	025-230-2203
	農業部(農業融資担当)	農業融資に関するご相談	025-230-2151

JA自己改革の取組み

■ 「にいがた農業応援ファンド」の取組み

JAグループ新潟では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を不断の取組みとしていくため、平成28年度からの3年間に続き、令和元年度から令和3年度の3年間における農業者への支援パッケージとして、「にいがた農業応援プログラム」を展開しました。

中でも、柱となる事業の一つである「にいがた農業応援ファンド」につきまして、令和3年度は、「新潟県園芸振興基本戦略」の取組みを新潟県および関係機関と一体となって一層推進していくため、「1億円園芸産地チャレンジ事業」の助成枠を拡充しました。また、「園芸生産拡大支援事業」、「新規・親元就農支援事業」および「商談会等販路拡大の活動支援事業」を継続し、農業者の取組みを支援しました。

農業者の皆さまより多数のご応募をいただき、審査の結果、4事業合計で308件・61,729千円の助成を採択いたしました。

令和4年度は、「1億円園芸産地チャレンジ事業」の助成枠と助成率をさらに拡充する等、引き続き農業者の取組みを後押しする、より踏み込んだ支援に努めてまいります。

にいがた農業応援ファンド取組実績(令和3年度)(単位:件、千円)

事業名	申請件数	申請金額	採択件数	採択金額
1億円園芸産地チャレンジ	82	21,476	82	21,476
園芸生産拡大支援	134	22,402	132	21,963
新規・親元就農応援	89	17,800	89	17,800
商談会等販路拡大の活動支援	5	500	5	490
合 計	310	62,178	308	61,729

文化的・社会的貢献活動

当会は、金融サービスの提供にとどまらず、地域社会の一員として、広く地域社会の発展と地域の皆さまの豊かな暮らしづくりを願い、次のような活動に取り組んでいます。なお、令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部活動を自粛いたしました。

- JAバンク食農教育応援事業(JAによる食農教育活動への助成、補助教材本の県下小学校への贈呈)の実施
- 「がんの子どもを守る定期貯金(ゴールドリボン定期貯金)」の受入れを通じた、がんの子どもを守る会への寄付金の贈呈
- 環境保全への取組み(節電、旧制服のリサイクル、エコキャップ運動への参加など)
- 公益信託「JAバンク新潟県信連創立50周年記念・ホームヘルパー支援基金」による社会福祉法人等への助成金の贈呈
- 新潟県障害者スポーツ協会へのサッカー観戦チケットの寄贈
- 認知症サポーターの養成
- 新潟市アグリパーク「アグリ・アート展」への協賛



J A による食農教育活動



がんの子どもを守る会への寄付金贈呈

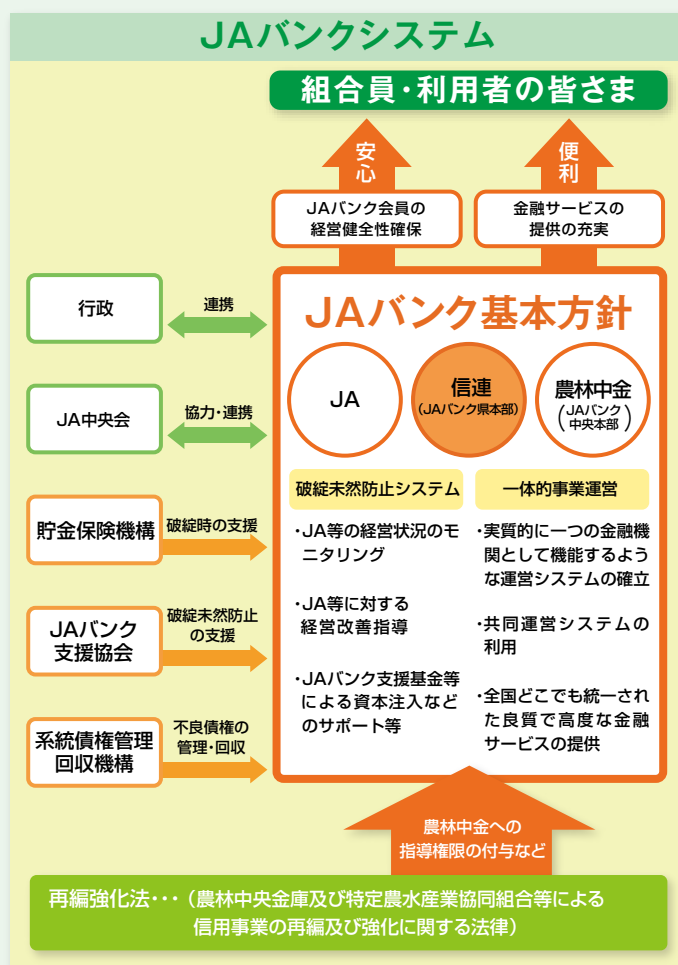
安心バンク、JAバンク

万全の体制で、組合員・利用者の皆さまに、より一層の「安心」と「便利」をお届けします。

■ JAバンクシステム

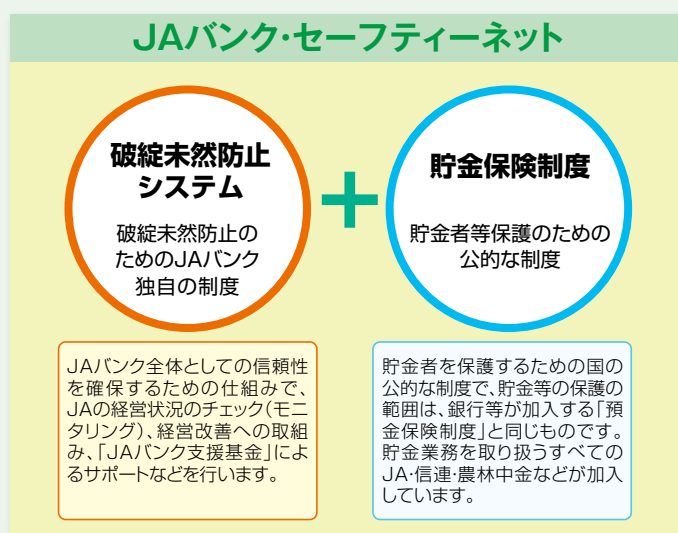
組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JA・信連・農林中金が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービスの提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。



■ JAバンク・セーフティーネット

当会の貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と、公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との二重のセーフティーネットで守られており、組合員・利用者の皆さまに、より一層の安心をお届けしています。



令和4年5月発行

編集 新潟県信用農業協同組合連合会 経営企画部

〒951-8570

新潟市中央区東中通一番町189番地3

TEL 025-230-2111

<https://shinren.jabank-niigata.or.jp/>

新潟県信連 検索



JAバンク
新潟県信連
ホームページ

